



ふれあい

2024年1月
現在の会員数
男性 1,400名
女性 744名
合計 2,144名

2024年/1月
180号

題字 府中市長 高野律雄 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/東京都府中市府中町1-30 ふれあい会館1F/TEL042-366-2322



謹賀新年

辰の人形 小物班作成・八ヶ岳高原大橋:Photo 池岡理事

本年もよろしくお願いたします

監	理	常	副	会
事	事	務	会	長
智	橋	見	萩	成
田	本	附	原	沢
清	佐	斎	大	池
水	藤	藤	倉	岡
相	関	洪	松	
澤	根	谷	井	
善	昌	彰	等	
道	一			
由				
紀				
子				
み				
は				
佐				
俊				
光				
男				
英				
典				
洋				
子				
信				
美				
紀				
征				
夫				
悦				
子				

職員一同

●目次

- 会長の新年のごあいさつ 2
- 市長の新年のごあいさつ 2
- 辰年生まれの元気な会員さん 3
- 働く会員の職場訪問 3
- リサイクルフェスタ・協働まつり 4
- 肩スッキリ体操・ボランティア清掃 4
- 総務・業務・地域委員会活動報告 5
- 安全委員会・会員就業交流事業検討会活動報告 6
- 第25～26回 KSK写真コンテスト 7
- 頑張っています!元気の班長さん 7
- 技能祭に参加・作品展見に来てね 8
- 行事予定・訃報・編集後記 8

令和6年年頭のあいさつ

会長 松井 等



新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年中は会員の皆様方には、当センターの事業運営にご協力をいただき有難く、心から御礼申し上げます。

さて、昨年は第4次中期計画(5年間の開始の年となりました。「健康と生きがい就業で地域に貢献」のローガンのもとに、令和9年度の計画目標として①会員数2,200名②就業率85%③契約額10億円を掲げ、目標達成に向け取り組んでいます。昨年は、インボイス制度がスタートし、また秋には「フリーランス法」と

いう新たな制度が施行される予定です。当センターでは、法改正等の動向に注視しつつ効果的・効率的な事業運営を目指すとともに、持続可能な開発目標(SDGs)の対応にも、責務を果たしてまいります。

会員の皆様方には、フレイル(虚弱)や加齢による心身の機能低下に負けず、日々体調管理をしていただきたいと存じます。

当センターの運営においては、理事会、委員会、班長、事務局が一丸となって取り組んでいきますよう、何卒ご協力いただきたくお願い申し上げます。同時に、会員の皆様方のご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶いたします。



新年のごあいさつ

府中市長 高野 律雄



新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人府中市シルバー人材センターの会員並びにご家族の皆様におかれましては、令和6年の新春をお健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、皆様には日頃より、市政の各般にわたり、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

貴センターにおかれましては、「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、「地域への貢献と活力ある地域社会づくり」に向けての事業を推進してこられました。設立以来、市民の信頼と実績を着実に築き、地域福祉の向上及び地域経済の活性化に向けてご尽力されてこられた

ことは、誠に同慶にたえません。これもひとえに松井会長をはじめ、発足当時から、様々な困難を乗り越えてこられました役員並びに会員の皆様、安定した運営と誠意ある仕事に努めてこられた賜物と、改めて深く敬意を表す次第でございます。

本市では、市民の皆様が生きがいを持って住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるよう、高齢者福祉施策をはじめとする様々な施策の推進に努めるとともに、府中市シルバー人材センターの活動を支援してまいり所存でございますので、今後とも変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、府中市シルバー人材センターのますますのご発展と、会員並びにご家族皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。





令和6年
年男
安倍 重孝
さん

府中市には、高校1年生のときで、3億円事件のあった年に越してきました。

入会は2015年で、入会時面談は前会長の瀬谷さんでした。生涯学習センターでのシルバーPC職群によるホームページ作成講座等を受講して、「シルバー、結構面白そうだな」がきっかけでした。

入会後は、パソコン職群、施設管理



令和6年
年女
末吉 順子
さん

私は、64歳のとき32年間務めた会社を定年退職し、暫く家にいました。丁度その頃、市の広報紙に載っていたシルバーの女性対象説明会の記事を見て、参加しました。

女性会員の体験談を聴き、熱心に仕事に取り組む様子が解り、私も入会しました。

2か所、プール自転車管理、小学校児童クラブ22か所の巡回点検保守(派遣業務)、学校内の消毒、学童見守り(交通安全)、各種の単発業務、ポスティング、そしてお助け隊等々、市内全域で活動をしています。お陰様で多くの方々とのつながりができました。

特に、お助け隊では103歳の方にもお会いし、元気なお姿を拝見しました。私も長く健康で頑張るつもりでいます。趣味はIT全般で、コロナ前までは学習塾等で3DCG、ロボットプログラミング、ミング、ドローン操縦などを教えていました。

私が最初に就いた仕事は、「国司の館」の管理業務でした。平成30年4月から6名でスタートし、令和4年6月までの就業です。歴史を学ぶ良い機会になりました。

その7月からは、友人の誘いで第二小学校の消毒の仕事に1年間就業しました。その最終日に、校長先生から全教員を前にして、感謝のお言葉を戴き、友人と2人で胸を熱くしました。

今は、週1回シルバーの「大人の英会話教室」に通っています。スキルアップを願っています。

働く会員の職場訪問

「やまびこ保育園」
園児の見守り業務



田口 文彦さん

今回の職場訪問は、社会福祉法人やまびこ会の「やまびこ保育園」で、登降園の園児の見守りを行っている田口文彦さんからお話を伺いました。

就業は、月々金曜日の7時半〜9時半、16時半〜18時半を各1名で担当します。メンバーは3名で、各人の月平均は13回程度の勤務となります。

就業内容は、保育園の登降園の際に、保護者と園児とが飛び出しや、お迎えの車への走り出し等に危険がないよう見守りを行うことです。

また、就業現場は屋外ですので、暑い日は太陽との戦い、雨の日は傘が使えずカッパを着ての対応と、天候に気を遣います。コロナ禍では園児との挨拶

やハイタッチができなかったのですが、今は出来るようになり、元気をもらっています。また、

今年は園の敬老会に招待されて参加し、「子供の頃の遊びはどんなことをしたか」と質問を受け、昔を懐かしく思い出して、楽しいときを過ごしました。

これからも体の続く限り、この仕事を続けたいと思っています。

田口さんは、定年退職後、暫くしてシルバーに入会し、小学校の清掃業務に約2年間就いていました。コロナ禍で業務が終了となりましたので、6〜7月の期間限定の野川公園の管理業務を経て、現在の業務を担当しています。さらに、お助け隊のメンバーや、班長としても頑張っています。



リサイクルフェスタに参加

10月14日(土)、すずかけ公園で不用品の再利用とリサイクルを目的にした「リサイクルフェスタ2023」が4年ぶりに開催され、当センターが参加しました。午前10時の開会宣言のあと、高野市長と手塚市議会議長が着ぐるみと共に会場を回り、水切り用ごみ袋を配布して、ごみ減量を呼びかけました。



不用品の再利用とリサイクルの推進を目的としたフリーマーケットには、80店舗ほどが出店し、衣料品のほか、おもちゃ、生活雑貨、本、CDなどが安い値段で販売され、お客さんで溢れていました。

剪定バサミ、洋バサミなど全部で19本の刃物を研ぎました。また、センターの広報チラシを配布し、PR活動にも努めました。
とん汁、焼きそばなどの模擬店も盛況で、穏やかな天気にも恵まれた秋の一日、終了時刻の午後3時まで会場は大賑わいでした。

当センターからは刃物研ぎ班が参加し、刃物研ぎを行いました。10件の依頼があり、包丁、

市民協働まつりに参加

11月25日(土)、26日(日)に、ル・シーニュの市民活動センター・プラッツで「第9回府中市市民協働まつり」が開催されました。今年は「つながる、広がる、人の輪」をテーマに、109団体が参加して展示や活動発表がありました。

府中市では、11月を市民協働推進月間に定めています。25日に当センターも出展団体として参加しました。

新入会員の勧誘と小物班の展示即売コーナーで、来場のお客様に対応しました。小物班では日頃の活動で製作した品物を数多く展示しました。特に、クリスマスグッズなどの手作り作品をお客様が手に取って、気に入った品物をお買い上げいただきました。



肩スッキリ体操に参加

10月18日(水)の午後2時から、第七ブロック会員研修として、「肩スッキリ体操」が開催されました。会場は郷土の森総合体育館の武道場で、多摩地域8市から34名のシルバー会員が集まりました。

まず、開催地を代表して、当センターの関根常務理事から開催趣旨の挨拶がありました。

講師は昨年と同じ、早稲田大学講師の包國友幸氏にお願いしました。前半は肩の仕組みの講義、上肢(腕)の振り上げ、振り下ろしのコンディショニングを繰り返し行い、肩が軽くなるのが実感できました。後半は肩甲骨と上腕骨周りのストレッチを、2人1組で行いました。肩周りがさらに軽くなり、参加者は驚きを隠せません。



参加者は、2時間にわたる体操に参加し、終了後は軽快な足取りで帰路につきましました。

四谷地区ボランティア清掃

10月11日(水)に、四谷地区でボランティア清掃が行われました。新型コロナウイルスの影響でしばらく途切れていましたが、ボランティア活動が再開です。

午前9時に四谷1丁目自治会館に16名が集合し、佐藤班長から「今回は第八中学校と四谷小学校の間の通路を重点的に清掃します」と説明がありました。参加者は、当センターのジャンパーを着用し、竹ぼうき、ちり取り、トンゲを手に、落ち葉などを集めます。

集合時は少し肌寒かったのが、やがて汗ばむ感じになりました。ごみでいっぱいになった袋を梅林公園の隅に積み上げました。1時間位の作業でしたが、落ち葉25袋、プラごみなど2袋を集めることができました。



終わりに、次回もぜひ参加してほしいとのあいさつがあり、解散しました。

総務委員会の活動報告

総務委員会委員長 佐藤 佐俊

総務委員会は、入会説明会・相談会、会員研修、広報紙「ふれあい」の発行、作品展、掲示板の管理などの活動を行っています。

まず、入会希望の市民に対し毎月1回、新入会員説明会を開催しています。当センターのホームページから、オンラインによる入会申込の受付も行っていきます。また、入会希望者を対象とした入会相談会を、夏の商工まつりや各種イベント会場等で開催しています。



入会会員の研修は、集合研修に代えて「会員研修・接遇マニュアル」の冊子を郵送し、自宅研修としていきます。会員からは研修報告書を返送してもらいます。

次に、広報紙「ふれあい」を年4回発行しています。記事は、委員がイベント会場、会員の職場を訪問して取材を行います。また、当センターの行事等についても詳しく掲載しています。

作品展は、市民と会員との交流の場として、60歳以上の府中市民と会員が出品する企画です。本年度は令和6年3月15日～17日まで府中市美術館において「ふれあい作品展」を開催します。

さらに、各文化センター敷地内に設置された掲示板に、当センターのPRポスターを掲示し、掲示状況の管理等を行っています。

業務委員会の活動報告

業務委員会委員長 萩原 信

業務委員会は、会員の就業機会の拡大、就業上の問題解決を図り、会員が楽しく仕事に取り組める環境づくりをサポートしています。

具体的な活動内容として、①各職群のリーダー会議の開催、就業先

への巡回訪問を行い、就業上の問題点の解決を図っています。②研修会を行い、発注者のニーズに応える会員のレベルアップを図っています。③会員に公平な就業機会を提供するため、公開募集を年3回実施しています。就業希望者の書類審査と面談を業務委員全員で行い、就業基準に則り公平な審査を行っています。④就業率向上に向け、未就業者を対象に就業相談会を実施しています。



今後、取り組む課題として、①会員の就業機会を増やすため、ひとりでも多くの方が働ける就業先の開拓や独自事業を立ち上げます。②女性会員が働きやすい魅力ある職場の

提供に取り組みます。③職群班の会員同士のコミュニケーションを密にして相互協力を図ります。

第4次中期計画(令和5～9年度)の目標実現に向けて、業務委員会が果たす役割は非常に大きいと考えています。会員の皆様と業務委員会が協力して、より良い方向に進めるよう、皆様と一緒に考え、ご希望に添えるよう努力してまいります。

地域委員会の活動報告

地域委員会委員長 田中 英典

当センターは10の地域に分かれ、それぞれの地域に地域委員10名と、会員数に応じて約100名の班長が選ばれています。

班長制度は、①会員相互の連帯意識と親睦を図り、②センターと会員との緊密な連絡体制を整備し、③効率的な就業を促進して、④センターの円滑な運営に努めることを目的に設置されています。このため、班長はセンターから会員への連絡事項の伝達や、毎月のメール便で文書等を配布しています。

地域委員会は、委員長・副委員長のほか地域委員が、毎月集まって開催しています。地域の活性化を図るため、地域懇談会、地域班長



会議・研修、ボランティア活動などの計画立案、事業実施の協議を行ってあります。また、地域班長の人選、役割及び会員へのメール便について検討をしています。

特に、会員の社会貢献活動の意識を高め、センターのイメージアップ、活力ある地域社会づくりに寄与するボランティア活動の促進には力を入れています。
多摩川清掃、ケヤキ並木清掃など、市内一斉ボランティアのほか、地域毎の地域懇談会、ボランティア清掃には会員への周知と参加を呼びかけていますので、是非ご参加をよろしくお願ひします。

安全委員会の活動報告

安全委員会委員長 清水 光男

安全委員会は、毎日会員が明るく健康で安全に就業できるよう、様々な



な施策と啓発活動を、理事2名と委員6名で行っています。
その活動は、就業中や就業途上の安全管理と日常の健康管理に分かれています。

安全管理の活動として、毎月の委員会では事故発生の原因とその防止対策を審議し、活動計画を定めます。現場の安全パトロールでは安全マニュアル遵守を確認し、メール便で事故防止への喚起を図っています。特に昨年度は、「事故ゼロ運動」を3～8月に展開し、無災害への推進に努めました。

自転車のヘルメット着用の努力義務化に伴い、安心保険への加入と着用率向上に取り組みました。また、市内の交通安全講演会・安全パレードに参加し、東京しごと財団主催の安全就業研修会・発表会に出席し、

安全標語の募集などの活動を行いました。
一方、健康管理の面では、様々な健康グッズを配布し、「安全・健康ニュース」の発行による

健康生活情報の提供を行いました。その他、春には会員就業・交流事業検討会と共催の「ウォーキング大会」、夏場には安全推進大会「脱水勉強会」などを開催しています。

今後、数多くの活動を実施し、会員の皆様のご理解とご協力を得て、「事故ゼロ」達成に向けて精一杯努めてまいります。

会員就業・交流事業検討会の活動報告

座長 古田 日出男

会員就業・交流事業検討会は、会員の皆様が健康で明るく楽しく仕事ができ、交流できる各種イベント事業の企画・運営を、委員9名で行っています。

毎月発行している「KSK便り」の写真コンテンツには、会員の皆様が日頃出会った偶然のシャッターチャンスを取めた写真の傑作が集まり、広報紙「ふれあい」にも掲載されています。あわせて、パソコン、カラオケ、ゴルフ等の同好会活動の案内もしています。

また、新型コロナウイルス感染症で活動できなかつた交流イベントは、昨年の春から再開することができました。3月には「第31回安全健康推進大会



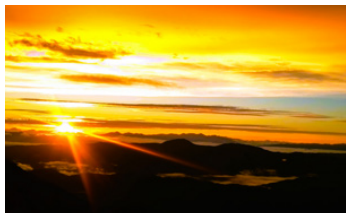
（武蔵国分寺跡ウォーキング）を開催し、6月に「健康ボーリング大会」、8月に「航空自衛隊・府中基地見学会」、10月には府中市の最終処分場である二ツ塚処分場等（日の出町）を見学し、つるつる温泉で昼食・入浴を楽しむ「日帰りバスツアー」を実施しました。

今後も、会員の皆さんが交流できるイベント事業を企画してまいります。皆様の参加をよろしくお願ひします。



KSK(会員就業・交流事業検討会)
写真コンテスト入賞作品の発表

写真コンテスト 第25回の入選作品



松村 巖さん
 『ご来光』

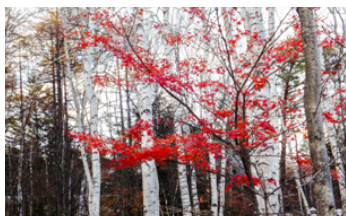


村野 幸夫さん
 『夏の朝のサボテン』

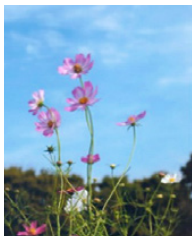


田丸 博巳さん
 『町内巡行』

写真コンテスト 第26回の入選作品



松島 正子さん
 『白樺と真っ赤な紅葉のコントラスト!』



赤木 愛子さん
 『初秋の空』



中村 勢津子さん
 『思い出』

私がシルバーに入会したのは70歳のときで、自宅から近い四谷体育館の管理業務にご縁がありました。その頃、班長がケガで活動ができないので、私がその後任として事務局から打診されました。でも、シルバーや班長については全く不明で、勝手がわかりません。事務局がいうのであればと、引き受けたのです。

班長を引き受けるなら、シルバーに少しでも役立ちたいし、一生懸命やるしかないなという心境でした。班長としては、次の二つをメインに考えました。それはボランティア清掃と地域懇談会であり、少しでも良くし、模範になれるようにとの気持ちでした。

ボランティア清掃では、参加者を20人ほどから30人をめざし、輪を



元気な班長さん 第1回
 ◆住吉地区◆

班長を引き受けるなら、シルバーに少しでも役立ちたいし、一生懸命やるしかないなという心境でした。班長としては、次の二つをメインに考えました。それはボランティア清掃と地域懇談会であり、少しでも良くし、模範になれるようにとの気持ちでした。

ボランティア清掃では、参加者を20人ほどから30人をめざし、輪を

私がシルバーに入会したのは70歳のときで、自宅から近い四谷体育館の管理業務にご縁がありました。その頃、班長がケガで活動ができないので、私がその後任として事務局から打診されました。でも、シルバーや班長については全く不明で、勝手がわかりません。事務局がいうのであればと、引き受けたのです。

班長を引き受けるなら、シルバーに少しでも役立ちたいし、一生懸命やるしかないなという心境でした。班長としては、次の二つをメインに考えました。それはボランティア清掃と地域懇談会であり、少しでも良くし、模範になれるようにとの気持ちでした。

ボランティア清掃では、参加者を20人ほどから30人をめざし、輪を

私がシルバーに入会したのは70歳のときで、自宅から近い四谷体育館の管理業務にご縁がありました。その頃、班長がケガで活動ができないので、私がその後任として事務局から打診されました。でも、シルバーや班長については全く不明で、勝手がわかりません。事務局がいうのであればと、引き受けたのです。

班長を引き受けるなら、シルバーに少しでも役立ちたいし、一生懸命やるしかないなという心境でした。班長としては、次の二つをメインに考えました。それはボランティア清掃と地域懇談会であり、少しでも良くし、模範になれるようにとの気持ちでした。

ボランティア清掃では、参加者を20人ほどから30人をめざし、輪を

笹川雄司さん

都立多摩職業能力開発センター府中校 技能祭

11月3日(金)、都立多摩職業能力開発センター府中校において「技能祭」が開催され、当センターから小物班が出店し、手作りの小物販売を午前10時〜午後3時まで行いました。

開店と同時に、店外で待っていた多くのお客様が入店し、例年になく賑わいを見せました。小物班員22名が作製した商品は、リーズナブルな価格で、持つていて便利な生活用品、趣味の逸品として優れものばかりでした。

開店後まもなく、高野市長がお見えになり、小物班の会員に励ましの言葉をいただきました。



数多くのチュウリップの花をあしらったキーホルダーを手に取って、品定めをしていた親子連れから「可愛い」との声が聞こえてくるなど、店内はほほ笑ましい

雰囲気にも包まれました。

今回は、布草履や男性班員の手作った革細工のお財布やポーチなどが初めて出品されました。クリスマスリースなど時節に合った色とりどりの商品が展示され、小物班の職人層の厚さを改めて感じさせてくれました。

小物班リーダーから、会員の皆様にメッセージがありました。毎月第一水曜日の午前10時〜午後2時まで、ふれあい会館ミーティングルームで「手作り小物販売会」を開催しています。ご来店をお待ちしています。



インボイス制度に伴うお願い

令和5年10月開始のインボイス制度について、インボイス発行事業者として登録をされた会員の方は事務局までご連絡ください。

第8回 ふれあい作品展

開催日 3月15日(金)〜3月17日(日) (入場無料) (午前10時〜午後4時(17日午後3時まで))

場所 府中市美術館 1階市民ギャラリー

作品応募 1月15日(月)〜1月24日(水)

募集点数 80点(1人1点・先着順)

作品内容 洋画(油彩・水彩等)、日本画、版画、書道、写真、オブジェ、人形、彫刻等



行事予定

令和6年

- 1月 ● これからシルバー応援フェスタ(22日)
- 3月 ● ふれあい作品展(15日〜17日)
- シルバーフェア

計

報

石橋 禎治(武蔵台) 高木 百合子(是政) 市川 信子(南町) 慎んでお悔やみ申しあげます

編集後記

あけましておめでとうございませう。皆様には、清々しい新年をお迎えのことと存じます。

三が日の間には、国の総社、大國魂神社(六所宮)へお詣りに行きます。国の天然記念物に指定されている馬場大門の櫓並木を通り、社号標を左手に見て大鳥居、随神門、中雀門の参道を進み、拝殿で拝礼をしています。

新しい年の初めに本号をお届けできることは、ご愛読者の皆様のご声援があればこそと感謝しています。

今年も、高野府中市長からご多忙中にもかかわらず、新年のご祝辞をいただきました。また、各委員会等のご協力により、活動内容が掲載されています。新企画、「元気な班長さん」は地域委員会からの寄稿です。ご一読いただければ幸いです。

紙面には、20余りの記事が掲載されています。掲載にあたっては、限られた紙面に平易で簡潔な表現を心がけ、読者の皆様が次号も楽しみと思つてもらえる内容をお届けできるように、今後も努めてまいります。

お忙しい中、取材に応じていただいた方、記事を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。

(総務委員長 佐藤)

